

角館

秋田●角館
ガイドマップ

深い木立ちと、重厚な屋敷構えで知られている角館町は、元和6年(1620)角館地方を領していた芦名義勝によって、造られたものです。三方を山に囲まれ、南の玉川筋によって仙北平野に開いている地形は城下町を形成するためにもっとも適している場所であったのです。

町を造る際には、現在の古城山(城跡)を北端として、南に向けて三本の道路を設定し、これを中心とって町を造りました。それ以前は、この山の北側、つまり現在の町と山をはさんで反対側にあつたものが、地の利、広さを考え、さらに水害や火災というアクシデントもあって、新しい町造りをしたものです。

町の中央部、ある広場は、火除けと呼ばれる場所で、幅25メートル、東の花場山の麓から西を流れる松木内川まで、町

のもっとも狭い部分を分断する形で設けられています。ここが、武家町(内町)と町人町(外町)を区分する場所となっています。

北側に位置する武家町は、深い木立ちが覆い、一方、南の町人町は町並みがびっしりと埋めて対照をなしています。町が造られた当時の元和6年(1620)には、武家屋敷250戸、町家420戸と数えられ、明暦2年(1656)に芦名氏断絶の後を継ぎ、佐竹北家が入り、秋田藩の所領(ところあずかり)として一門筆頭の城下町を形成していました。

以来400年余、町の形は大きく変わっていませんし、特に内町という武家町は、道路の幅から曲り角一つまで、そのまま残っています。まさに角館は歴史の生きこ

角館武家屋敷通り (内町)

石黒家(有料)
佐竹北家の用人を勤めた家柄。武家の格式を示しながら簡素な佇まいを呈しています。

青柳家(有料)(ハイカラ館)
家屋は奇棟葺葺屋根の母屋。薬医門、蔵、塀など、武家屋敷の建築様式を今に伝えます。

岩橋家(無料)
江戸末期に改築。角館の高級士族の家屋として間取りなど典型的な形を残しています。

松本家(無料)
『烏帽子政也』の著者として知られる須藤五郎を出した向学の家です。建築年代は幕末期と推定。

河原田家(有料)
藩政時代の建築を踏襲。座敷にはこの地方の書院造りの典型的な様式を残しています。

小田野家(無料)
今宮氏の邸下から佐竹北家の組下となった家柄。伝統的な庭園と特徴的な中級士族の屋敷です。

角館町平福記念美術館(有料)
平福徳庵、百穂父子の作品を中心に、小田野直武ほか多くの郷土画人を顕彰する美術館です。

角館細工伝承館(一部有料)
細工は山桜の樹皮を細工して茶筒や硯箱などを作るもの。日本では唯一の技術を伝える伝統工芸品です。館内には細工や、佐竹北家にもつた資料が展示され、細工の製作実演も行われています。

角館へのアクセス

- JR利用【新幹線】**
 - 東京 (3時間)
 - 仙台 (1時間30分)
 - 盛岡 (45分)
 - 田沢湖 (15分)
 - 大曲 (11分)
- 秋田内陸線利用【急行もりよし】**
 - 阿仁マタギ (45分)
 - 阿仁前田温泉 (1時間25分)
 - 鷹巣 (2時間)
- 車利用**
 - 仙台 (3時間10分) 国道105号
 - 盛岡 (1時間20分) 国道46号
 - 秋田 (1時間10分) 国道46号
- 飛行機利用**
 - 東京 (70分) 秋田空港
 - 大阪 (90分) 秋田空港
 - 名古屋 (90分) 秋田空港
 - 札幌 (70分) 秋田空港
- 夜行高速バス利用【羽後交通】**
 - レイク&ポート号
 - 東京 - 東北自動車道

角館駅からの距離

横町橋(松木内川堤)	約1.2km	徒歩20分
伝承館(武家屋敷通り)	1.5km	徒歩21分
西宮家(田町武家屋敷通り)	700m	徒歩10分
天寧寺	850m	徒歩12分
郵便局	750m	徒歩10分
常光院	1.1km	徒歩15分
花葉館	10km	車で12分
抱返り深谷入口(神社)	8km	車で12分
あきた芸術村(わらび座)	6km	車で10分
雲巖寺	5km	車で10分
八津(かたくり群生地)	13km	車で18分
刺巻(水芭蕉群生地)	15km	車で20分
田沢湖畔(香山)	30km	車で33分

タクシー案内 市内観光(入館料別、消費税込)

1時間……7,680円 2時間……15,360円
3時間……23,040円 4時間……30,720円

※タクシー料金は令和7年現在のものです。
※施設の所要時間及びタクシー料金については待時間、道路状況等により変わりますので目安として参考にして下さい。

角館の四季の主な催事

- 桜まつり**(4月15日～5月5日)
町の中心を流れる松木内川の堤に、2kmにわたってソメイヨシノの桜のトンネルがあらわれます。昭和8年救農土木事業によって完成した堤防上には、現天皇陛下の御誕生を記念して昭和9年に植えられたのがこの桜です。また、武家屋敷通りに咲くシダレザクラは、今から約330年前佐竹北家がこの地に入部してからほどなく植え育てられたもので、樹齢300年以上の老樹なども400本余りが華麗に咲き誇ります。
- ささら舞**(6月13日～20日)
《6月15日角館の送り盆》
ささら舞は、慶長7年(1600)佐竹氏が常陸(現、茨城県)から国替えの時、行列の先頭に立ち悪鬼退散をさせたもので、これが各村々の獅子踊りといふようになって伝わったのだと言われています。あくまで信仰を支えとして、無病息災などを祈願するもので、今日ではお盆の行事として舞われています。
- 角館祭りのやま行事**(9月7～9日)
勝楽山成就院薬師堂・角館鎮守神明社の祭典にあわせ、9月7日～9日に国指定重要無形民俗文化財「角館祭りのやま行事」が行われます。余興として各町内から18台の曳山(ヤマ)が繰り出し、薬師堂・神明社内を賑わす佐竹北家当主の上覧、町内を賑わすに曳きまわります。曳山には角館を中心とした近北の浦地域の人による飾山囃子、秋田おぼこの踊り子が乗り、道中囃子を絶やさないように、奉納や手踊り、張番(各町内の番所)、家々へ手踊りを披露しながら歩きます。伝統芸能を堪能できる祭りです。

外町地区観光名所

新湖社記念文学館(有料)
角館出身の新湖社創設者佐藤義亮氏ゆかりの文人や近代文学に関する資料原稿を展示しています。

西宮家
明治後期から大正時代にかけて地主として繁栄し、その時代に建てられた5棟の蔵と母屋は大正ロコにあられる古き良き時代を今に伝えています。

安藤家(無料)
創業嘉永6年(1803)年。味噌醤油の醸造元と漬物の製造元明治中頃に建てられたレガ造りの蔵座敷は火災に罹り設計されたもので公開されています。

天寧寺
寛永元年(1624)年創建。会津より移封の芦名氏の菩提寺。山門は寛政三年建造の角館城の遺構です。他に芦名氏三代の墓や、千鶴丸供養の大仏、裏山には平福百穂の塚があり町を見わたっています。

勝楽山成就院薬師堂
薬師如来を祀る鎮守。峰の薬師さんと呼ばれ、戦国時代に戸次氏信仰したのが始まりとされています。現在の地は芦名がおきた町割りの際に移転しました。佐竹北家の外護があり、特任住持義文(八代は篤信)といひ。

常光院
寛正元年(1460)年開山。佐竹北家の菩提寺。幕末の戦いで大村藩と九州からの援軍藩士の戦没者墓があります。

角館鎮守神明社
角館天照大御神を祀る町の鎮守。小田野直武の給馬が奉納され菅真澄終焉の地碑が建立されています。

雲巖寺
宝徳2年(1450)年の開創。山門(奥有形文化財)の仁王像は、(古)師の作詞者高橋市蔵の作です。座禅堂は秋田最古のもので、白岩焼の仏像千体を祀った千体仏堂もあります。市文化財。



案内標柱

武家屋敷
A 1 Q

火振りかまから(2月14日)
小正月の行事の一つで、神聖な火で田んぼの忌を払い五穀豊穡、無病息災を祈る行事です。炭俵に1mほどの縄をつけ、それに火をつけ振り回します。大きな火の輪が冬の夜のメルヘンの世界へと誘います。